

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

- 基本目標 『未来を拓く日本人を育てる』
○具体目標（目指す生徒像） ・創造性に富む人 ・心豊かな人 ・最善を尽くす人
○校 訓 自主創造

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

☆テーマ 『豊かな心をもって、自律・実践する生徒の育成』

－ 希望・創造・感動 の校風をめざして －

今、日本の社会は、大きな変化の時代を迎え、多くの若者にとって、夢を抱きにくい社会になったともいわれている。しかし、社会がどのように変化しようと、人がその社会を生きていく厳しさは今でも変わらない。まして、生徒や家庭を取り巻く状況は現在、日ごとにその厳しさを増していると同時に、教育現場への要求は限りなく、私たちの眼前に掲げられている。

だからこそ、その社会を生きていく生徒たちは、困難や試練に負けずに生き抜いていく強さとたくましさ、そして、しなやかさをもつこと、人への思いやりや感謝する心、感動する心などを育てていくことが重要である。

そのためには、中学生という多感な時代に「希望・創造・感動」の世界を広げてやることが本校では必要であると考え。希望は未来を創造し変えていく力、創造は生きる意欲と知恵、感動にはやる気を起こさせ、社会に生きて働く力や自己肯定感、生きる優しさを育む力がある。そのような校風をつくることによって、自律（自分で立てた規則に従って、自分のことは自分でやっていく力）・実践（粘り強く取り組み、それまでなかったものを作り出す力）する力が生徒一人一人に身に付くものとする。

その育成のために、全職員が生徒と正面から向き合って、生徒の一人一人の「よさ」を認め、ほめて伸ばす教育活動を実践していく。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) ○生徒の「生きる力」を育成するために個に応じた教育を進め、地域に根ざした活動を展開し、豊かな心、確かな学力、健康や体力の育成に努めます。
(2) 教育目標の具現化をめざし、**全教職員が意欲と使命感を持って学校経営に参画し**、生徒や保護者等の信頼や期待に応える学校づくりに努めます。

〔宮の原地域学校園教育ビジョン〕 心豊かで 輝く子どもの育成

4 教育課程編成の方針

- (1) 自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を目指し、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成を重視した指導を徹底し、個性を生かす教育の充実を図るとともに、生涯教育の基盤を培うことをねらって教育課程を編成する。
(2) あらゆる教育活動の中で、また、学校・家庭・地域社会が一体となり、「学びあい、喜びあい、励ましあう」活動内容及び場を設定し、生徒と教師、生徒同士及び地域の人々との交流を深めながら、お互いのよさを認め合い、信頼し合い、豊かな人間関係の構築を図り、特色ある学校づくりを目指した教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学 校 運 営】・豊かな心をもって、自律・実践する生徒の育成 — 希望・創造・感動の校風をめざして —
【学 習 指 導】・自己の課題を意識し、主体的に学び取る度の育成
—○基礎・基本の定着を目指した魅力ある授業を通して—
【児 童 生 徒 指 導】・善いことを認め、ほめて自尊感情を育む基本的生活習慣の育成
—○元気なあいさつ、きまりを守る態度を育てる—
【健康（体力・保健・食・安全）】・自分の健康や体力向上・安全に高い関心をもつ生徒の育成
—教科体育・学校行事の充実と健康や安全意識の高揚—

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「生徒は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①○毎時間の授業の中に、授業の「ねらい（課題）」と「振り返り」を定着させ、生徒が目的意識をもって主体的に授業に参加できる体制をつくる。 ②○わかりやすい授業展開を継続するとともに、生徒のコミュニケーション能力を高めるための授業の工夫を行う。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】全体アンケート「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」⇒教職員の肯定的回答 90%以上	①通常の学校生活や学校行事など、様々な機会を捉えて、思いやりの心の大切さを指導していく。また、帰りの会などで思いやりのある行動をとった生徒等の事例を紹介、称賛することで啓発していく。 ②道徳の授業で指導内容項目「B-(6) 思いやり、感謝」の指導において、教材研究を熱心に行い、充実かつ生徒の心に響く授業を展開していく。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】全体アンケートで同様の設問の生徒の肯定的回答 90%以上	①○同一歩調による生徒指導体制を構築し、組織的対応で進めることで生徒の規範意識を高めるとともに、リーダー育成の機会を増やし、自立的な生活態度を育てる。 ② 計画的な巡回指導、生徒一人一人に目を向けたきめ細かな指導を通して、問題の早期発見・解決に努めるとともに、家庭と連携しながら長期的な視野で生徒の変容を支援する段階的な指導体制づくりを進める。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 生徒は、時と場に合ったあいさつをしている。 【数値指標】全体アンケートで同様の設問の教職員の肯定的回答 90%以上	①○日常的教育活動全般を通して、相互の人格を尊重し合う態度を育てるとともに、定期的実施している生徒会によるあいさつ運動等、あいさつ励行の実践の機会を設ける。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。（A 7 共通） 【数値指標】全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」⇒生徒の肯定的回答 85%以上	① キャリア教育に力を入れ、常日頃から将来の目標に向かって日々努力していくこと。あきらめずに粘り強く学習や運動などに励み続けることの大切さを指導していく。 ②○進路指導主事を中心に、3 学年はもとより 1、2 学年の保護者会等においても生徒及び保護者に進路指導を行い、小学校も含め学年の若いうちから継続的な努力の大切さを啓発していく。		【達成状況】 【次年度の方針】

A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】全体アンケートで同様の設問の生徒の肯定的回答 85%以上	① 生徒会の生活安全委員会や保健体育委員会を中心に生徒会等の活動の充実を図り、登下校時の安全や校内での安全な生活、健康体力の向上などを意識した生活が送れるよう啓発していく。 ② 養護教諭や生徒指導主事、交通安全係を中心に、保健体育科の授業に加わったり、定期的な登下校指導、安全点検等を行ったり、具体的な活動をしていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】全体アンケート（A 5 共通）「生徒は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 道徳の授業において、特に指導内容項目「C－(12)社会参画、公共の精神」、「C－(13)勤労」に力を入れると共に、常日頃より「夢や目標をもって、社会に貢献していく」ことの大切さを指導していく。 ② 特に2学年で行う社会体験学習（宮っ子チャレンジ）において本番はもとより前後の指導も充実させ、社会に貢献できることの素晴らしさ、夢や目標をもつことの大切さを学ばせる。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】全体アンケート「生徒は、英語の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている」⇒生徒の肯定的回答 80%以上	①〇小学校の「外国語」の授業とも地域学校園小中一貫教育の教科部会において連携を図りつつ、中学校段階では「英語」の授業においてできる限り英語でコミュニケーションをとるように指導していく。 ②ALTにはできるだけ生徒との交流を持ってもらい、授業中はもとより、休み時間等の雑談等でも英語でコミュニケーションをとるよう促していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】全体アンケート「私は、宇都宮の良さを知っている」⇒生徒の肯定的回答 85%以上	①〇小中一貫教育・地域学校園として小学校低学年のうちから、特に社会科の授業を中心に宇都宮の良さについて指導していく。 ② 道徳の授業において、特に指導内容項目「C－(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する心」の授業を充実させていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】全体アンケートで同様の設問の教職員の肯定的回答 85%以上	① 各教室に完備してある大型テレビを利用し、デジタル教科書や視聴覚教材を積極的に活用していく。また、どの教科においても必要に応じてPC室や図書室を有効活用していく。 ②〇小中一貫教育・地域学校園として小学校低学年のうちからICT教育に力を入れ、PC等の情報機器の活用に慣れ親しませていく。	【達成状況】 【次年度の方針】

A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】全体アンケート（A2共通）「生徒は、誰に対しても、思いやり的心をもって優しく接している」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 道徳の授業における指導内容項目「B-(6)思いやり、感謝」、「B-(14)家族愛、家庭生活の充実」の指導を充実させていく。 ② 体育祭における「高齢者招待（歓迎の言葉）」等の機会を捉え、常日頃より高齢者に対する感謝やいたわりの心をもつように指導していく。 ③〇小学校とも連携し、小学校低学年のうちから高齢者への感謝やいたわりの心を指導していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】全体アンケート「生徒は、環境問題や防災等の『持続可能な社会』について、関心をもっている」⇒生徒の肯定的回答 80%以上	① 社会科において「持続可能な社会」についてしっかりと学ばせる。また、道徳では指導内容項目「D-(20)自然愛護」の指導を充実させていく。 ② 生徒会福祉委員会の「ペットボトルキャップの回収」や「ベルマーク」収集に力を入れ、活動の中で自然と「持続可能な社会」に対する関心が高まるように支援していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
B2 生徒は、学級での活動、生徒会活動、学校行事に自主的に取り組み、自分の役割や責任を果たそうとしている。 【数値指標】全体アンケートで同様の設問の生徒の肯定的回答 90%以上	① 学級での活動、生徒会活動、学校行事等で、生徒が自主的に活動や運営に取り組む場を設け、その役割や責任を果たすよう支援することによって、生徒の自主的・主体的な生活態度、自治意識などを高めていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
B3 生徒は、健康を大切にし、各種検診等で指摘された場合は医療機関で受診している。 【数値指標】全体アンケートで同様の設問の保護者の肯定的回答が 90%以上	① 保健体育委員会中心に生徒会等の活動の充実を図り、健康体力の向上に意識が向くようにする。 ② 養護教諭を中心に、「保健だより」等において「健康体力の向上」に役立つような記事を多く載せ、啓発していく。 ③ 各種検診で受診を求められた生徒に対して、通知や家庭への電話連絡等で受診を勧めていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
B4 生徒は、授業で分からないことについて、先生に質問している。 【数値指標】全体アンケートで同様の設問の保護者の肯定的回答が 85%以上	① 学習意欲を喚起させるための、個に応じたきめ細かな対応や、適切な質と量の家庭学習課題の定期的な提示やその確認に努める。 ② 生徒との信頼関係を築くことにより、生徒が先生に質問しやすい雰囲気を作り出していく。	【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 学 校 の 姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする生徒や外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている」⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 毎週1回の教育相談部会（月4回のうち2回は支援委員会を兼ねる）を開き、教育相談係（兼特別支援教育コーディネーター）を中心にSCやMSも参加し、特別な支援を必要とする生徒や外国人生徒等の実態に応じて適切な支援を検討し、全職員の共通理解のもとに支援を行っていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】全体アンケート「先生方は、いじめが有されないことを熱心に指導してくれている」⇒生徒の肯定的回答 90%以上	①〇「いじめはどの生徒にも起こりうる」との認識の基、未然に防止するための取組の充実を図り、いじめの起こらない環境づくりに努める。 ② いじめの未然防止に向けて、常日頃から実践している年に数回行う早期発見のためのアンケートや生徒会生活安全委員会が行ういじめゼロ集会等の具体的方策をHPや学校・学年だより等を通して保護者や地域に発信していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】全体アンケート「先生方は、一人一人を大切にし、生徒がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている」⇒生徒の肯定的回答 90%以上	①〇小中一貫教育・地域学校園として小学校低学年のうちから不登校の傾向の見られる児童に対する適切な支援を小中が連携して検討、実施していく。 ② 不登校傾向の表れてきた生徒に対しては、早期に週1回の相談部会で状況報告、支援策の検討を行い、全職員の共通理解の基で学級担任が中心となって家庭と密に連携を取りながら支援を進めていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A16 教職員は、外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】全体アンケート（A13 共通）「教職員は、特別な支援を必要とする生徒や外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている」⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 外国人生徒の実態に応じて、週に1回の教育相談部会で状況の報告、支援策の検討を行い、全職員の共通理解の基で適切な支援、合理的な配慮を行っていく。 ② 週に1時間は、該当生徒に対して市教委の指定した日本語指導講師に日本語の指導を受けさせる。 ③ 学級、学年を中心に、該当生徒を温かい雰囲気迎え入れることのできる環境を整えていく。（インクルーシブ教育）	【達成状況】 【次年度の方針】
	A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】全体アンケート「私は、今の学校が好きである」⇒生徒の肯定的回答 90%以上	① 学級での係活動、生徒会活動、部活動等で、生徒の自主的な活動意欲を高め、責任感や向上心を育てる。 ② 校訓「自主創造」を学校行事や生徒会行事の企画運営に生かすために、リーダー育成に力を入れ、生徒の自主的・主体的活動を積極的に取り入れながら、明るく活気のある教育環境の充実に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】

A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」⇒生徒の肯定的回答 90%以上	① よく分かる授業の展開を目指し、教員相互で授業を公開し合う「校内公開授業」を通して授業力向上に努めるとともに、学習相談などできめ細かな指導を図る。 ② 少人数・習熟度別学習の内容・方法等の研究、全校体制で取り組む特別支援教育の充実等を通して、個に応じた学習の推進を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケートで同様の設問の教職員の肯定的回答が 90%以上	① 学校長を中心とした「チーム学校」の考え方のもとで教職員が諸々の懸案事項に対して各係を中心にお互いに協力体制を惜しまずに業務に取り組む職場環境を構築していく。 ② 週に 1 回の校務運営委員会において、懸案事項を協議し、具体策を検討し、職員の共通理解の基でチームとして対応していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケートで同様の設問の教職員の肯定的回答が 80%以上	① 全職員の健康を守るためにも、出勤時刻の把握を管理職が徹底し、全体的に時間外勤務が多い場合には、週に 1 回の校務運営委員会で原因と対策等を協議、検討し、業務の効率化を図る具体策を講じていく。 ② 個人的に時間外勤務が多い職員に対しては、管理職が周囲の職員等から情報を収集し、原因等のある程度把握した上で個別に面談を行い、業務を効率化していくための指導・助言を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】全体アンケート「小中一貫教育・地域学校園の取組を行っている」⇒保護者の肯定的回答 85%以上	①〇小中一貫教育を推進するために、地域学校園各小学校との情報交換及び、乗り入れ授業をはじめとした連携の推進に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】全体アンケート（A23 共通）「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい」⇒生徒の肯定的回答 85%以上	①特に 1 学年においては、「総合的な学習の時間」における「農業体験」や「職業人に学ぶ」の授業等を通して、地域の方々の教育力と学校が連携して特色ある教育活動を展開していく。 ②特に 2 学年においては、5 日間の「社会体験学習（宮っ子チャレンジ）」を通して、地域の企業等と連携しながら、キャリア教育をすすめ、特色ある教育活動を展開していく。	【達成状況】 【次年度の方針】

	A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート（A22 共通）「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① 宮の原中学校地域協議会の提言等を取り入れた教育活動の推進、地域の行事等への参加を通して、家庭や地域、企業等と連携を図った生徒の健全育成に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】全体アンケートで同様の設問の教職員の肯定的回答が 85%以上	①施設・設備面（ハード面）としては、校舎や体育館入口へのスロープ、階段の手すりや足下の滑り止め、エレベーター、多目的トイレの設置などを公的機関と連携して行っている。 ②生徒指導面（ソフト面）としては、校舎内で走ったり暴れたりしないこと、廊下の右側通行、落ち着いた態度で授業を受けること、安全に十分に配慮した部活動の実施等の指導を徹底していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】全体アンケート（A10 共通）「生徒は、パソコンや図書等を学習に活用している」⇒生徒の肯定的回答が 85%以上	①「技術」の授業にとどまらず、「総合的な学習の時間」等で P C 室を積極的に活用し、「職業調べ」や「京都・奈良の寺社調べ」及び発表のためのパワーポイントでの資料作りなどを行う。 ②月曜から金曜まで毎朝、読書の時間を 10 分間設けるとともに、図書室の開放、図書室からの回覧文庫、学級文庫などを有効に活用させ、読書の習慣化を図り、豊かな心を育んでいく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B 1 教職員は、自己の役割と責任を自覚しながら、連携と協力を通して、明るく活気ある職場作りに努めている。 【数値目標】全体アンケートで同様の設問の教職員の肯定的回答が 90%以上	① 職員会議、校務運営委員会、学年会、時間割に位置づけた生徒指導部会や教育相談部会等を通して、職員間の共通理解を深め、協力・連携に基づいて協働で職務の遂行にあたる体制づくりに努める。 ② 一人一人が意識して「明るく活気ある職場作り」に努めるとともに、「報・連・相」がスムーズに行える「風通しのよい職場」を作り出していく。	【達成状況】 【次年度の方針】

本校の特色・課題等	B5 教職員は道徳教育の推進を通して、生徒と教師の相互理解に基づく温かい人間関係づくり、心豊かな生徒の育成に努めている。 【数値指標】全体アンケート「先生方は道徳の授業を熱心に行い、私たちの温かい人間関係づくりや豊かな心の育成に努めてくれる」の生徒の肯定的回答80%以上	① 全学年で実施する、学年体制で取り組む道徳研究授業と校内研修、全時間分の資料と展開例の整備と活用等を通して、教職員一人一人の指導力向上に努める。 ② 道徳の授業と日常の教育活動の関連を図った指導を通して、生徒の道徳性を育むとともに、学校生活の向上や生き方の探求に努めようとする態度を育てる。 ③ 保護者に本校での取組を知ってもらうために、HPを利用した情報発信を今後も続けるとともに、授業参観や学校公開で道徳の授業を参観できる機会がもてるよう検討する。	【達成状況】 【次年度の方針】
-----------	---	--	-------------------------------

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

--

7 学校関係者評価

--

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

--